

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力のお願

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

昭和大学病院におけるインフルエンザ患者動向とインフルエンザ流行レベルマップとの関連

1. 研究の対象および研究対象期間

2005年1月から2020年9月まで当院に受診された方

2. 研究目的・方法

1999年4月の「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」施行により、効果的な感染症サーベイランスの評価研究は、急速に発展してきました。特に、季節性インフルエンザについては、市民のニーズも高いことから、メディアなども活用した迅速な情報発信がなされています。都道府県レベルでは、人口などを加味した定点医療機関あたり患者報告数の数値により、国立感染症研究所がインフルエンザ注意報・警報および終息の基準値を定めています。

その一方で、2020年初頭からのCOVID-19感染症の流行は、季節性インフルエンザの動向にも影響を与える可能性が極めて高く、患者の受診行動について検討することは医療政策上の大きな意義があります。そこで本研究では、昭和大学病院におけるインフルエンザ患者動向とインフルエンザ流行レベルマップとの関連について検討し、COVID-19感染症の流行も加味した院内外への情報発信を模索することを目的とします。

本研究は、診療記録を用いた後方視的研究です。病名とそれに付随する住所（郵便番号の範囲内で個人を特定出来ないもの）から流行レベルマップを作成するソフトの開発をクラウドソーシング（クラウドワーク社、ランサーズ社、Graudia社）に依頼し、昭和大学放射線医学講座がその基礎となるデータを提供、衛生学公衆衛生学講座と昭和大学大学院保健医療学研究科医療マネジメント教室が解釈し考察をいたします。

研究期間

2019年10月31日～ 2021年10月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

住所（郵便番号の範囲内）と病名、病名を付けた日付の情報、患者背景（年齢、性別、現病歴、既往歴、生活歴）、治療内容（手術の有無）、臨床経過（診療録に記載の臨床所見、臨床検査項目）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部 衛生学公衆衛生学講座 氏名：箕浦 明
住所：142-8555 品川区旗の台1-5-8 昭和大学 電話番号：03-3784-8135

研究責任者：

昭和大学医学部 衛生学公衆衛生学講座 箕浦 明